

One Day

シュタイナー学園中等部
7年生のある1日



8:10~ 登校

JR藤野駅からバスで15分。山道の通学路を40分ほどかけて歩いて登校する生徒も。おかげで足腰は丈夫です。登校後は教室で本を読むなどして授業が始まるのを待ちます。

8:30 エポック授業/国語

朝の2時間弱はシュタイナー教育独自のエポック授業。笛を吹いたり、詩を唱えたりとウォーミングアップしてから、主要科目をしっかり学びます。今日のエポック授業は国語。「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり...」七五調のリズムを基調にした和漢混交文で平家一門の栄枯盛衰が描かれる『平家物語』が、思春期の子ども心に真つすぐ届きます。



10:15 中休み

軽食を食べるなどして、その後の専科に備えます。



10:35 第1専科/英語

7年生になるとそれまで会話や聞き取り中心だったコミュニケーション英語に加え、英文法を体系的に学び始めます。8年生では恒例の「英語劇」発表も控えています。

11:25

第2専科/オイリュトミー

身体を用いて言葉や音やフォーメーションを表現するオイリュトミー。体が重くなるこの時期は教員への反発が強くなりますが、12年生で卒業発表をするころには、ため息が出るほど美しい動きをするようになります。



13:05

第3・4専科/工芸

5年生から続いている工芸。今日は木彫りで1枚の板から皿を彫り出します。内面と外面を削り進める作業は、思春期の外的な目覚めと内面的な心の揺らぎとのバランスを取ります。



14:45

第5専科/HR

今日のテーマは学園祭での7年生の催し物。それぞれが自分のアイデアを主張して徐々にヒートアップ。きっと個性豊かな楽しい催し物になるでしょう。

15:35 下校

放課後は自宅で課題をする生徒、習い事に行く生徒、ライアー、コーラス、オーケストラ、バスケットボール、運動クラブなどのクラブ活動に参加する生徒などそれぞれの時間を過ごします。



ご紹介したのは一例ですので、内容は変わることもあります。



8年劇

いるのを感じ、当日の子どもたちは、本当に美しかったです。

白田 はじめて8年劇を観たときに、「中学生が美しい」という意味がよくわかりました。それぞれの子どもの本質があらわれ、内側が輝いていますよね。8年劇が終わるといよいよ担任の先生とお別れする修了式ですね。

増淵 主役の子が行き詰まってしまうと本番直前に休んでしまおうという出来事もありました。また全然セリフを覚えようとしていない子と膝をつきあわせて話してみると、自分は主役のような役ができるはずだと悩んでいた。「これは大切な役だよ」と伝えると、ぐんと変わったこともありました。

加藤 私のクラスは最初からやる気満々で、自分の力を出したいというエネルギーでいっぱいでした。個人練習にもすごく意欲的で、衣装や音楽を含めて、素晴らしい仕上がりになりました。「美しく幻想的な世界になるように」ということは何度も言いましたが、彼らはイメージする力を培っています。これまでの芸術的な学びが全て生きて

し、心の状態にもあらわれてきます。まともな感覚で対応しようと思うと、こちらがまいてしまいます。自分の思春期のことは忘れてしまっています。

思い出すことも大切です。今思えば、口うるさく干渉はしませんでした。母が温かくて美味しいご飯を、毎日同じ時間に出してくれたことは本当にありがたいことだったと思います。「困ったことや言いたいことがあったらいつでも聞きましょう」という雰囲気を作るのも必要ですね。

谷口 爆発した思いが出たときに、善か悪かの判断をするのではなく、ただ聞いてほしいのだと思います。それに大人がどう対処しているのかを、子どもたちはしっかりと見えています。どこかで、「自分のために言っているのだ」「人間としてどうするべきなのか」ということは感じています。優しくされたことはちゃんと覚えていて、温かい言葉をかけることも必要ですね。また、大人の自身がこのころに感じていた同じ思いを共有することもできます。未来は優しい大人になれるのだろうと信じて、毎日やって

いくしかないですね。

加藤 反抗している最中、実は子ども自身も傷ついていることもある。そこに気が付いてあげること、そして叱ったとしても、「大丈夫だよ。あなたは変わっていきけるよ」と思っていてあげることが大切ではないでしょうか。

白田 思春期の子どもたちは大変なこともあります。学園の12年生の成長した姿を見ると、どのようなプロセスでも「大丈夫」と思えますよね。これが1年生から12年生までの成長を見守ることができる一貫教育のいいところですね。



Satoru Masubuchi
増淵 智

イギリス・エマソンカレッジでシュタイナー教員養成講座を修了後、帰国。東京シュタイナーシューレ(現シュタイナー学園)でクラス担任を務めた後、NPO法人藤野シュタイナー高等学園及びシュタイナー学園高等部で数学担当。現在、シュタイナー学園7年生クラス担任。

Kyoko Taniguchi
谷口 恭子

2000年に渡米。アメリカ・サクラメントのルドルフ・シュタイナーカレッジで、基礎コース、教員養成コース受講。2002年5月卒業。2003年4月よりシュタイナー学園にて8年間の担任として勤務。現在、シュタイナー学園2年生クラス担任。

Yuko Kato
加藤 優子

大学時代からシュタイナー教育を学び、企業に勤務しながら土曜クラスに関わる。シュタイナー教育教員養成講座修了。2007年度からシュタイナー学園に関わり、現在、3年生クラス担任。

Hiroko Shirata
白田 拓子

大学でシュタイナー教育と出会い、国内のシュタイナー教育教員養成講座で学ぶ。土曜クラス担任を経て、現在はシュタイナー学園高等部国語担当。